

旬刊



毎月二回一日一五五発行
定価 一部二十五銭
二部五十銭
三部七十五銭
四部一百銭

廣告 一行一四
場所指定五十銭増
福島縣平市大町八番地
編輯兼發行人 木村安次
印刷 木村安次

醫師の監督強化

組合 福島縣の運営方針

國民健康保險掛金の大幅引上に備へて豫防衛生に上り福島市國健組合をはじめに防衛衛生の組合精神を二本松、若松、桑折の各に立脚、まづ第一に國健組合では相ついで事業停止の事業方法を一部變更しあるは解散を申込んで長期患者(十日以上)のあるたて本縣聯合會では大いめに保證書を利用せしめ、に根拠し、先ごろから短期患者(一週間以内)の次にわたり役員會を開いて取扱ひを停止せよといふ新善後策をねつてゐる。本縣方法を解散の組合に獎勵、の同組合は昭和十三年同法再建をはかる一方、保險金の施行初最六組合、十四年も大幅値上げ以前の三月間に十組合、十五年同法再建等もしくはそれより低下し合、このころから同法の内方法を考究、更に醫師の容が強化されたため十六年指導と監督を強化し親切には六十八組合となり十七年指導と監督を強化し親切には二百五十九組合となり十八年には二百五十九組合と飛躍し郡山市を除く全縣下に組合の組織が出来た、しかし組合の擴張にのみ専念しなした縣聯合會は保險醫の整へとして生必品中のマツチ備と質的向上を意つたため、鍋、釜の配給を確保するた常に組合員からは醫者と聯合の昭和十一年第一四半期四合會に對し不満を持つて六月の増産計畫を決定、四月折りもをり今回の掛金大日發表した

防衛保險であることを説明させてゆく、問題を起してゐる掛金の賦課を全面的に民主化する事でそのために平等に近い掛金を徴収、不足分を特殊寄附と國庫補助金の引上げの案などに考へてゐるこれにつき聯合會では

「このまゝで行けば必ず休職や停止の組合員は醫療費の負擔に耐へ兼ねて悲鳴をあげる事だらう。今後は醫師自体も經營面で行きつまるであらう。國健を全面的民主化して再出發させてゆくことが縣民の福利増進してゆく近道と考へる」と語つた

隣りは一日三本づつ

鍋釜も配給の計畫

商工省では新國生活の裏付した縣聯合會は保險醫の整へとして生必品中のマツチ備と質的向上を意つたため、鍋、釜の配給を確保するた常に組合員からは醫者と聯合の昭和十一年第一四半期四合會に對し不満を持つて六月の増産計畫を決定、四月折りもをり今回の掛金大日發表した

幅引上となつて、これを「マツチ」四月から六月まづかけに解散や事業停止問題となり表面化するに至つたもの、聯合會としてはこのまゝ、當分成行きを見守つてゆく方針だが再出發と殘

費は廿四萬六千トン、今年の生産豫定計畫は昨年度の倍額廿萬トンだから大体戦前の需要量まで近づきつゝあるともいへる品質についてはともかく不評の確率マツチから出るだけ早くバラフィンマツチに切換へる豫定で目下軸木の入手をはじめ、勞務、輸送の確保に努力してゐる

「鍋釜」市販には粗悪品が氾濫してゐるが、商工省が鳴物入で宣傳した規格品の生産状況は遅々として、昨年十二月

専賣局の内譯話

見返り物資で海外へ輸出か

煙草の配給が四月から一本五本に減つた、この間の事情と今後の見通しについて専賣局の内譯話

二十年度の煙草の實績成績は總計三千七百萬キログラムで、三割減になつてゐる。この公約通り四月から一本増配を實行したのでこれで約八百萬キログラムだけ消費がふいふ。勘定でいよ、別居に今年はず付段別が更に一萬町歩も減つて二萬五千町歩になる、しかも今年でこれまでのストックが拂けてしまふから五本以上の増配は所詮見込なし。別居の中で日本製煙草百萬キログラム(一千トン)がシヤム、佛印方面むけに輸

入米に對する見返り物資としてリストにのほり許可を待つてゐる、豫定の品種は「光」「さんし」などと同じ黄色種(アメリカ葉)で約十億本の煙草が生まれる。煙草も生るため新しい標語が生まれよう

婦人向にも配給せよと言ふ聲は婦人參政權が許可されてからいよ、熾烈だ、そこで専賣局では全國の喫煙婦人數の調査を初め一部では既に調査はかなり進んでゐる、ただもし配給となつても婦人用分として増配するわけではなく、タバコを嗜まぬ男に遠慮して貰つて云ふこととなる。と言ふ話してこの話うまく行けば良いが

今年中に實施の三市新都市計畫

縣都市計畫委員會では戦前の福島、郡山、平三市の都市計畫を廢止し終戦後新たに着手する平、郡山両市の都市計畫および飯坂町の都市計畫變更を決定した、三市の計畫大要は次の通りである

▲郡山市——區畫整理地積は九十五萬坪、街路は幅三十六メートル以上の稻荷小原田線、二十九メートル以上の麓山町線、幹線として驛堤、ひうち田、荒池、北町瓜井平、稻荷久保田、虎丸山根、本町堂前、阿彌陀島前、圓影の八路線が十八メートル以上、このほか十五メートル以上の十三路線、十一メートル以上の二十路線、八メートル以上の三路線、計四十六本の街路を新設擴充する

▲平市——都市計畫が空場場區六十二萬坪、區畫整理が二十六萬坪計八十七萬坪の廣域にわたり街路は幅三十六メートル以上の田町小太郎町線、十五メートル以上の大工町月見町線、笹植小路並根町線を中心として十一メートル以上が十路線、八メートル以上が十五路線、都合二十八路線を擴充新設する

月餘に渉る猛烈なる

總選舉開票の結果

本縣下八十三名の各候補が勢力と全力と舌戦を費し惡戦苦闘の結果左の如き榮冠を頂く十三名の當選者を決定した

當選	七六二四八票	(自)	圓谷光衛
全	五九九九一票	(社)	鈴木義男
全	五八九三六票	(進)	荒木武行
全	五四二四八票	(自)	中野虎吉
全	五一四四五票	(進)	太田秋之助
全	五〇二一六票	(社)	榊原千代
全	四九四八六票	(無)	林平馬
全	四八六四〇票	(進)	山下春江
全	四五五八六票	(自)	加藤宗平
全	四五二〇二票	(自)	大内一郎
全	四二〇〇八票	(進)	村井八郎
全	四〇六三〇票	(進)	鈴木周次郎
全	四〇二七〇票	(進)	星一

生活擁護

市民大會

食糧危機突破のため去る十日平市公會堂日本間に於て市民大會を催された、協

千六百トン、中旬五十二萬四部 五三、七、六十枚が交付された、其のザ々として選舉事務所もほん

貴金屬類に隠匿物資

約三百億圓發見さる

値段にして廿億ドル(邦貨密告によれば昨年七月下旬に於ては約三百億圓)といふと

閩商賣の一つに立候補營業

立候補營業

選舉は金の力かゝるものと思はれ、金に滲透し上下一体となり事の話し合でお味増と醬油の

平製作所の新舊所長

西山恵一、鈴木賢次の両氏

平市堂の前に十数年前より任じたが氏の性格から云ふ

五月から業務用塩にリンク制

塩にリンク制

今度出る調味料 塩にリンク制

資本主義と協力主義

協力主義

今日の金融制度銀行制度は國を以つて居ない猶太人の

人口調査

政府では聯合總司令部の指令により十六日より二十五

御誌

今度當工場より出火致し候は物資不足の折柄甚だ御迷

富士興業株式會社

平市五丁目

釜屋 電話九番九九番

啓城自動車工業株式會社

皆様の國民食堂フクベ

關内藥店

近火御見舞御禮

高野木工業株式會社